

北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の書面協議のご意見及びご質問に対する回答

令和2年7月9日

1 次期計画の基本理念及び基本目標、冊子の章立てについて

委員	意見及び質問	回答
松田 正實	基本目標3「だれもが活躍し、元気で活力にあふれる地域づくり」の「あふれる」を「満ちた」に変更。	「満ちた」というのは、自身の意識から湧き上がるような能動的な表現であり、主旨が伝わりやすいと考えます。 「だれもが活躍し、元気で活力に満ちた地域づくり」に変更します。
	基本目標4の基本方針1「健康づくりへの意識啓発と実践を進めよう」を「健康づくりの意識を高め、地域で実践を進めよう」へ変更。	「意識啓発」は抽象的で難しい表現であるというご指摘は、そのとおりであると考えます。変更案の「地域で実践を進めよう」については、地域だけでなく全体を包括するため「みんなで」とさせていただきます。 「健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう」に変更します。
	基本目標4の基本方針2「みんなで防災・防犯の体制をつくり、実効性のある取組みを進めよう」を「地域の防災・防犯体制づくりに参加し、積極的に活動を進めよう」に変更。	まず最初は「参加」から始め、6年という長い計画の取組みを進めるうえでは「実効性」も必要であると考えます。 「地域の防災・防犯体制づくりに参加し、実効性のある取組みを進めよう」に変更します。

2 令和元年度 計画推進のための取組み状況について

委員	意見及び質問	回答
曾我 幸蔵	前計画の振り返りの時、自己採点してほしい。	地域福祉計画推進のための取組み状況について、毎年実施している地域福祉計画推進委員会の場で、区及び社協の実施している各事業について、成果指標をもとに実績の振り返りを行っています。また、地域福祉活動計画地区別計画については、各地区ごとにR1座談会で自己評価を実施しました。
上村 洋一	令和元年度 2015の取組事業の状況（令和2年3月末現在）資料2事業名「住民主体の支援」の「課題・今後の方針等」が平成31年度と同文「生活支援コーディネーターと連携し～支援していきます。」です。「課題・今後の方針等」は、きちんと情報を収集・分析すれば一年毎に多少なりとも変わってくるのが普通だと思いますがいかがでしょうか？また、文章のなかに前年同様、「事業の周知を図る」となっていますが、見方によっては、2年連続の周知不足となるのでは…。「課題・今後の方針」ですので、「事業の周知を図る」で済ませずに、さらに検討を行い、より深めた文章、文言を期待します。	生活支援コーディネーターと連携し、情報の収集や相談等に対応する中、担い手や利用者の固定化は継続した共通課題と考えています。より一層の事業周知の在り方を今後も継続して検討していきます。（コロナ禍の前は、訪問Bの交流会も検討した経緯あり）
小川 悦子	健康福祉課と社会福祉協議会と北区関係機関（医療福祉大学、病院など）の支えあいのしくみづくりを互いに協力しながら進めている。地域全体で取り組んでいる。今後に生かされると良いと思う。	今後も各関係機関との連携で力をいただきながら、地域全体として支えあいのしくみづくりを進めていくことがますます必要であると考えています。
	児童虐待進行管理ケース件数、児童相談件数に対して各所属機関を通しての支援・協力や地域の主任児童委員や障がいサービス関係機関も支援し、実質的な支援体制を取ることで、児童虐待件数が減少するように次年度への対策が取れるとよいと思う。	各関係機関と連携し支援体制を取ることで、児童虐待の未然防止や早期解決に向けて取り組んでいきます。また関係機関の情報交換や児童虐待への啓発や理解を深めることを目的に地区連絡会にて合同研修会・情報交換会を開催していきます。
佐藤 環	ホームページだけでなく、施設等でも周知のためのチラシ等があるとよいのではないかと思います。	各年度の取組み状況については、委員会での報告とホームページへの掲載としておりますが、広報物の作成、配布等の方法も検討していきます。新しい計画については本冊と概要版を作成し、関係機関や施設等に配布する予定です。

3 令和2年度 計画推進のための取組み

委員	意見及び質問	回答
峯村 秀美	質問です。資料10の6ページ、事業内容⑧松浜地区へ回覧版で周知R元年度も同事業が報告されています。松浜地区だけなのはなぜですか。またどんな内容のものですか。	豊栄地区は回覧板がないため、松浜地区（北地区）のみ回覧版で周知を行っています。内容は、北地区で行う集団のがん検診日程、特定健診の受診勧奨です。北区全体としては豊栄地区の集団がん検診日程を含め、北区だよりで周知しています。
曾我 幸蔵	各プランごとの成果（ふりかえり）をお願いします。	地域福祉計画推進のための取組み状況について、毎年実施している地域福祉計画推進委員会の場で、区及び社協の実施している各事業について、成果指標をもとに実績の振り返りを行っています。また、地域福祉活動計画地区別計画については、各地区ごとにR1座談会で自己評価を実施しました。
上村 洋一	資料10令和2年度北区健康福祉課主要事業3ページ「地域包括ケアシステムの推進」の事業内容ですが、しくみづくり会議の設置日・構成団体等のみの記載になっており、これも昨年とほぼ同文です。何故このような文章、文言になるのか教えていただきたい。よろしくをお願いします。	「地域包括ケアシステムの推進」にあたる中、高齢介護系の事業として「支え合いのしくみづくり会議」概要説明という主旨で掲載しております。
青柳 親房	コロナで活動が制約される中ですが、年度末までに1ヶ所でも社会福祉法人（施設）に関わってもらふ事業に着手できればと願っております。	現在、社会福祉法人と地域をつなげるための支援を行っているところです。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「3密」の回避や政府が提唱する「新しい生活様式」を実践し、市民の方や施設職員の方が安心して参加できる環境を整備したうえで対応していきたいと考えています。
小川 悦子	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても安心して暮らせる地域づくりをするために、健康寿命を延ばす取り組みが住民に浸透するとよいと思います。 ①運動習慣の定着、生活習慣の改善 ②血圧元気塾 ③介護予防の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・骨を丈夫にする取組み（骨粗しょう症予防） ・車椅子で移動ができる環境づくり 	あらゆる機会をとらえて、区民の方々に北区の健康データを活用しながら健康寿命延伸の話をしていきます。また、減塩や取り組みやすい運動といった生活改善の提案を継続して実施していきます。また、北区社協では、地域参加による健康長寿と生きがいづくりに関するリーフレットを作成し、各種講座等で周知を行いました。R2年度も継続実施します。
岩名 朝子	講習会やふゆっこまつり等の人が多く集まる場所では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策をとり、安心して参加できる環境が整備される必要があると思いました。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「3密」の回避や政府が提唱する「新しい生活様式」を実践し、安心して参加できる環境を整備するよう十分に検討し注意いたします。